

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三井不動産ロジスティクスパーク平塚Ⅲ	階数	地上4F
建設地	神奈川県平塚市大神字一之堰655番6 外90筆	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年1月25日
敷地面積	15023.15 m ²	作成者	JFEシビル株式会社 伊藤寛之
建築面積	9642.31 m ²	確認日	2022年1月25日
延床面積	29558.11 m ²	確認者	JFEシビル株式会社 伊藤寛之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 62 (kg-CO₂/年・m²)
② 建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)
③ 上記+②以外の: 65%
④ 上記+: 65%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
平塚市内の工業地域において、周辺環境との調和および地球環境へ配慮した建築計画を行う。	特になし
Q1 室内環境 VOCへの配慮、自然換気面積を確保することにより良好な空気環境を確保する計画とする。 建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。	Q2 サービス性能 更新必要間隔の優れた建材を使用し、建物の長寿命化を図る。 将来の用途変更に対する空間の自由度に余裕を持たせる設計とする。
Q3 室外環境(敷地内) 植栽による良好な景観を形成する。	LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷を抑え、優れた外皮性能を達成する。 高効率機器の使用および太陽光パネルの設置により、建物運用時の消費エネルギー削減を達成する。
LR2 資源・マテリアル 節水型器具を使用し、水資源の保護を図る。 躯体から仕上げ材の分別を容易化し、解体時の資源再利用に配慮する。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を用いず、温暖化を抑制する。 自転車置場、駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設を確保し、敷地内の導入路部分に待機スペースを設けて周辺道路の渋滞緩和対策としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される